

環境チェックレポート

(1) プロジェクト名

石炭火力発電プロジェクト

(2) 実施場所

インドネシア共和国中部ジャワ州

(3) プロジェクト概要

石炭火力発電所を建設・所有・操業するもの

(4) カテゴリ分類

カテゴリ「A」

(5) カテゴリ分類の根拠

本プロジェクトは、環境ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすいセクター（火力発電セクター）に該当し、影響を及ぼしやすい特性を持つため。

(6) 環境許認可

インドネシア共和国制度に基づき、ESIA（環境社会影響評価報告書）が作成され、2016年5月に同国中部ジャワ州環境局により付帯条件付きで承認を取得済である。事業会社は付帯条件について適切に対応する予定である。

(7) 汚染対策

大気質、水質、廃棄物及び騒音・振動等について、適切な措置が講じられている旨、確認されている。

(8) 自然環境面

自然環境面への影響に対して、適切な措置が講じられている旨、確認されている。

(9) 社会配慮面

本プロジェクトにより社会経済的な影響を受ける住民等への配慮について、対応計画が策定され、適切な措置が講じられている旨、確認されている。

(10) 適用国際基準

IFC パフォーマンススタンダード

(11) その他・モニタリング

上述の環境レビュー結果を踏まえ、ESIA に係る付帯条件の遵守状況等についてモニタリングを実施する予定。

以 上

質問事項

質問 1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

インドネシア共和国、中部ジャワ州、ジュバラ県(Jepara Regency)、クンバン郡(Kembang Sub-District)、ツバナン村(Tubanan Village)

質問 2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

既存の Tanjung Jati B 石炭火力発電所 (660MW x 4 基) の隣接地における、新設プロジェクト会社 (PT Bhumi Jati Power) を通じた、1,000MW (Net) x 2 基の超々臨界石炭火力発電所による売電事業。

質問 3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に実施しているものですか？既に実施しているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

- 新規 既往 (苦情等あり) 既往 (苦情等なし) その他 ()

質問 4. プロジェクトに関して、環境社会影響評価 (ESIA、EIA 等) はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

- 要 (実施済) 要 (実施中・計画中) 不要
 その他 ()

質問 5. 環境社会影響評価が既に実施されている場合、環境社会影響評価はプロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

- 承認済み (附帯条件なし) 承認済み (附帯条件あり) 審査中
 その他 ()

(承認年月：2015 年 12 月末取得予定 承認機関：中部ジャワ州政府)

質問 6. 環境社会影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

- 取得済み 取得必要だが未取得 取得不要 その他 ()

(許認可名：港湾建設及び運転、取水及び浚渫等に係る許認可)

質問 7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件 (例：特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等) ですか？

(No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 8 以下にお答え下さい。

質問 8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

質問 1 3. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 14 にお答え下さい。
No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業 (大型炉を含むもの)
- (5) 非鉄金属製錬
- (6) 石油化学 (原料製造。コンビナートを含む)
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10) セメント (新設の採石場を含むもの)
- (11) 有害・有毒物質製造・輸送 (国際条約等に規定されているもの)
- (12) 火力発電
- (13) 原子力発電
- (14) 水力発電、ダム、貯水池
- (15) 送変電・配電 (大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの)
- (16) 道路、鉄道、橋梁
- (17) 空港
- (18) 港湾
- (19) 下水・廃水処理 (影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの)
- (20) 廃棄物処理・処分
- (21) 農業 (大規模な開墾、灌漑を伴うもの)
- (22) 林業、植林
- (23) 観光 (ホテル建設等)

質問 1 4. プロジェクトの規模 (概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等) について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境社会影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

プロジェクトサイト：約 54.8ha

発電方式：超々臨界圧石炭火力発電 (USC)

発電容量：2,000MW (火力発電案件においては 100MW 以上が環境社会影響評価実施要件)